

静岡県議会

共に創る“ふじのくに”

ふじのくに県民クラブ

みらい きょうそう
未来共創

2023年統一選挙マニフェスト

未来共創

ふじのくに県民クラブは静岡県議会における政策集団として、これまでも2019マニフェスト「Shinka（進化・深化・真価）」や2015マニフェスト「覚悟」を公表し、政策を推進して参りました。これらの活動を踏まえ、2023マニフェストとして「未来共創」を策定いたしました。

これまでの政策理念「命・豊・人・礎」に新たに「環（つなぐ）」を加え、SDGsの時代にふさわしい環境と経済の両立を目指してまいります。

社会が進展し私たち県民生活は便利で豊かになりました。一方でその背後には少子高齢化や人口減少、公共設備の老朽化や財政負担増など、様々な課題が一度に押し寄せてきています。

私たちふじのくに県民クラブは、それら一つひとつの課題に真正面から向き合い、静岡県民の皆様の幸せづくりのために、これからも挑戦し続けてまいります。





命を守り、将来の安心な暮らしの実現

- 南海トラフ地震や激甚化する自然災害に、デジタル技術を活用した災害リスクの可視化に取り組み、防災力・減災力を高めます。
- 感染症管理センターを中核とした防疫体制の強化や、医療機関や保健所との連携を推進し、全ての県民に安心できる医療体制の拡充を図ります。
- 市町が取り組む育児施策を支援し、国や基礎自治体間の情報共有を進め、各地域に根差した支援策が進められるよう取り組みます。

未来へ環、美しいふるさと静岡

- 脱炭素社会の実現に向け、世界中の取り組みを調査し、県内産業の取り組みへの支援や、ゴミの少ない循環型経済先進県をつくります。
- 南アルプスなどの自然環境の保護に加え、適切な森林の維持管理や、海洋汚染対策など、環境負荷を削減しながら自然との共生を目指します。
- 従来からの環境問題への取り組みを見直し、市町や教育機関と連携し、誰もが身近に取り組める“持続可能な静岡県づくり”を進めます。



“満足度日本一”の豊かな静岡

- 生産力・経営力を上げるために、一次産業（農林水産業）の現場におけるデジタル技術の導入支援など、産業のDXを進めます。
- アフターコロナを見据えた国内外の観光客誘客に向けた取り組みを展開し、県内における交流人口の拡大に取り組みます。
- 県内企業が持つ技術を次世代産業に結び付けるため、スタートアップ企業との共創機会や、新規起業に対する支援策を拡充し、新たなチャレンジがしやすい環境を整えます。



日本の将来を担う、人財の育成

- 子どもたちの個性を尊重し、個に応じたきめ細かな指導ができる教育環境を整備します。
- 国際社会や地域に貢献できる人財を社会全体で育む機運を醸成します。
- 言葉や文化の違い、障がいがある方など、多様性の理解が促進される政策を提言し、すべての県民が暮らしやすい静岡を目指します。



持続可能な静岡県の基盤づくり

- 税金の仕組みと使い方や、静岡県の財政状況を分かりやすく発信し、行財政改革の重要性を県民のみな様と共有しながら、改善に取り組みます。
- 人口減少社会を真正面から捉え、現実的なデータに基づいた行政運営をシミュレーションし、将来負担の軽減を提言していきます。
- 議会のデジタル化、ウェブ等での情報発信を拡充し、身近で開かれた“県議会の見える化”を進めます。

未来共創

いのち
命

つなぐ
環

ゆたか
豊

ひと
人

いしずえ
礎

政策集団として挑み続けます